

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	管理栄養学科		
科目名称	卒業研究						授業形態	実習	
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	甲斐 敬子								
授業概要	臨床栄養分野で学んだことを基礎として、個人毎に自ら研究テーマを決定する。テーマについて文献等を検索し研究計画を作成する。計画に基づき調査・研究を行い、得られた結果についての確な考察を行い卒業論文を作成する。								
関連する科目	全ての必修科目を受講し、単位を修得しておく。								
授業の進め方 と方法	原則週1回の卒業研究指導（全員） 随時、個別相談・指導を行う。データーをまとめ論文作成後、発表会（パワーポイント使用）を行う。 論文集を作成する。 学生自らテーマを決め、論文を作成する。随時、意見交換を行う。								
授業計画 【第1回】	ゼミの年間計画、研究の進め方、留意事項について説明する。								
授業計画 【第2回】	研究テーマの決定 先行研究、文献等の検索 専門に関する書籍等から、テーマを決める。								
授業計画 【第3～6回】	研究テーマの決定 先行研究、文献等の検索 研究テーマを決定し、それに関する論文・文献検索 研究に関し、倫理的配慮が必要であれば、それに対する書類の準備。								
授業計画 【第7～11回】	研究内容の実施プラン作成 論文・文献検索し、実施プランを作成する。								
授業計画 【第12～18回】	実施プランに沿って、研究対象者の選定、研究内容の検討。調査に必要な書類の準備。確認 倫理的配慮が必要であれば、それに対する書類の準備。 調査用紙の作成 調査用紙を作成し、担当教員、研究室員と協議する。								
授業計画 【第19～24回】	研究の実施。調査用紙配布、回収、回収状況確認。								
授業計画 【第25～28回】	研究調査の集計。								
授業計画 【第29～35回】	研究調査の分析								
授業計画 【第36～45回】	研究調査のまとめ。								
授業計画 【第46～58回】	卒業論文作成・研究発表準備								
授業計画 【第59回】	研究論文発表会・協力者への報告。								
授業計画 【第60回】	研究論文発表会・協力者への報告。 論文集作成。								
授業の到達目標	調査・研究の立案、実施、論文作成により臨床栄養分野での更なる分析・評価・考察力を学ぶ。 研究テーマの調査を通して、今まで学習した臨床栄養学を理解すると共に、研究の意義、解析方法等の知識を身に着ける。								
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)								
授業時間外の学修 【予習】	研究テーマを、常に意識し日々の新聞、ニュース等も関心をもってみる。 関係する学術機関誌は必読								
授業時間外の学修 【復習】	研究テーマを、常に意識し日々の新聞、ニュース等も関心をもってみる。 関係する学術機関誌は必読								

課題に対する フィードバック	研究室主催の「卒業研究発表会」を開催し、講評を行う。 必要に応じて修正・加筆を行い最終の研究成果をまとめた論文とする。
評価方法・基準	研究意欲・知識の習得状況・研究態度・論文内容・発表を総合して行う。
テキスト	必要に応じて文献・参考資料を提示する。
参考書	必要に応じて文献・参考資料を提示する。
備考	管理栄養士として大学病院で調査・研究に携わった経験に基づき、調査・研究・論文作成に関する助言・指導を行う。

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科	
科目名称	卒業研究					授業形態			
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング
○									
担当教員名	杉尾 直子								
授業概要	「食を通して地域に貢献すること」を目的とした研究です。食べ物と健康との関係を広く捉え、調査等から課題をみつけ、トータルマネジメントやサポートによって地域への還元を目指す研究です。例えば、小中学生対象に「スポーツ栄養」、宮崎市域住民を対象に「食と生活習慣病」、若年層対象に「望ましい食事」から体験活動を含めた栄養教育を実施し、生涯に渡って心身共に健全な生活を送れるよう支援支援も含めた研究等を行っています。 栄養教諭等で児童生徒、保護者、地域の関わった食育活動を行ってきた実務経験や体育協会での活動をを活かし、取り組んでいきます。								
関連する科目	3年次までに学習してきた教科全体が関連してきます。								
授業の進め方 と方法	①研究テーマによって、進め方が違う。他の研究室と合同で研究する場合もある。 ②いろいろな学会の論文を読んで学ぶことから始める。 ③基本的には、実態把握を行い、活動から論文を作成する。								
授業計画 【第1回】	研究に関する全体計画（年間活動計画）の作成からシュミレーションする①								
授業計画 【第2回】	研究に関する全体計画（年間活動計画：学童）の作成からシュミレーションする②								
授業計画 【第3回】	研究に関する全体計画（年間活動計画：地域）の作成からシュミレーションする③								
授業計画 【第4回】	研究に関する全体計画（年間活動計画：スポーツ）の作成からシュミレーションする④								
授業計画 【第5回】	今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる①								
授業計画 【第6回】	今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる②								
授業計画 【第7回】	今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる③								
授業計画 【第8回】	今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる④								
授業計画 【第9回】	今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる⑤								
授業計画 【第10回】	今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる⑥								
授業計画 【第11回】	今までの各種論文研究からの自分でまとめたものを発表①								
授業計画 【第12回】	各種論文研究からの自分でまとめたものを発表②								
授業計画 【第13回】	各種論文研究からの自分でまとめたものを発表③								
授業計画 【第14回】	各種論文研究からの自分でまとめたものを発表④								
授業計画 【第15回】	研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成①								
授業計画 【第16回】	研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成②								
授業計画 【第17回】	研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成③								
授業計画 【第18回】	研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成④								
授業計画 【第19回】	研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成⑤								
授業計画 【第20回】	研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成⑥								
授業計画 【第21回】	アンケートの実施及び現場での調査等①								
授業計画 【第22回】	アンケートの実施及び現場での調査等②								

授業計画 【第23回】	アンケートの実施及び現場での調査等③
授業計画 【第24回】	アンケートの実施及び現場での調査等④
授業計画 【第25回】	アンケートの実施及び現場での調査等⑤
授業計画 【第26回】	統計に関する講義①
授業計画 【第27回】	統計に関する講義②
授業計画 【第28回】	統計に関する講義③
授業計画 【第29回】	統計に関する講義④
授業計画 【第30回】	統計に関する講義⑤
授業計画 【第31回】	アンケート等の集計①
授業計画 【第32回】	アンケート等の集計②
授業計画 【第33回】	アンケート等の集計③
授業計画 【第34回】	アンケート等の集計④
授業計画 【第35回】	アンケート等の集計⑥
授業計画 【第36回】	アンケート等の分析①
授業計画 【第37回】	アンケート等の分析②
授業計画 【第38回】	アンケート等の分析③
授業計画 【第39回】	アンケート等の分析④
授業計画 【第40回】	アンケート等の分析⑤
授業計画 【第41回】	☐ 論文の書き方①
授業計画 【第42回】	☐ 論文の書き方②
授業計画 【第43回】	☐ 論文の書き方③
授業計画 【第44回】	☐ 論文の書き方④
授業計画 【第45回】	☐ 論文の書き方⑤
授業計画 【第46回】	論文作成①
授業計画 【第47回】	論文作成②
授業計画 【第48回】	論文作成③
授業計画 【第49回】	論文作成④
授業計画 【第50回】	論文作成⑤
授業計画 【第51回】	論文作成⑥
授業計画 【第52回】	論文作成⑦
授業計画 【第53回】	論文作成⑧

授業計画 【第54回】	論文作成⑨
授業計画 【第55回】	論文作成⑩
授業計画 【第56回】	全体まとめ及び製本①
授業計画 【第57回】	全体まとめ及び製本②
授業計画 【第58回】	全体まとめ及び製本③
授業計画 【第59回】	担当教員の研究室でのチェック①
授業計画 【第60回】	担当教員の研究室でのチェック②
授業の到達目標	授業時間外の調べ学習から「食」に関する課題を見つけ、1年間の卒業研究を通して、統計処理や論文が書ける。 【知識理解・技能・高度な専門量】【人間力、社会性の涵養を目指す】【課題探求力、情報リテラシー】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外の学修 【予習】	年間計画を作成するにあたって、関連する研究の学会発表や論文を検索し、情報収集を行います。
授業時間外の学修 【復習】	途中までの研究やまとめ方を見直します。
課題に対する フィードバック	課題については、ゼミの中で解説する。
評価方法・基準	卒論への取り組み、論文内容により総合的に評価する。
テキスト	各自のテーマに応じて適したテキストを使用する
参考書	卒業論文作成にあたっては、各自文献を収集する必要がある。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	卒業研究					授業形態		演習		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	渡邊 純子									
授業概要	栄養教育論分野で学んだことを基礎として、主体的に研究課題を検討し先行研究等を調査した上で研究計画を作成し、計画にそった栄養教育により得られたデータを用いて評価します。これら一連の取組みについてまとめ、卒業論文を作成する。 管理栄養士として行政・病院・学校等で勤務した経験に基づき、全てのライフステージ対象の実践的栄養教育について指導を行う。									
関連する科目	全ての必修科目。 年度内に全ての必修科目の単位を取得すること。									
授業の進め方 と方法	原則週1回の卒業研究指導（全員） 卒業研究では各自の設定した課題に関する研究計画・実施・結果報告・評価について、グループディスカッションやグループワーキングを中心に行う。【論理的思考,自己管理能力・自律性の育成】。 随時、個別指導や体験学習等を取り入れて指導を行う。 また、卒業論文作成後の成果発表ではディスカッションを通じて理解を深める。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション（卒業研究を進めるに当たっての留意事項等） ゼミの全体計画について									
授業計画 【第2回】	オリエンテーション（卒業研究を進めるに当たっての留意事項等） ゼミの個別計画について									
授業計画 【第3～4回】	研究課題の検討、先行研究、文献資料の検索・収集									
授業計画 【第5～6回】	研究課題の検討、先行研究、文献資料の検索・収集・発表									
授業計画 【第7～10回】	研究課題決定・研究計画の作成									
授業計画 【第11～16回】	研究対象・研究内容の検討・調査票等の作成									
授業計画 【第17～24回】	研究の実施・回収・回答状況の確認									
授業計画 【第25～36回】	調査の集計・分析・まとめ									
授業計画 【第37～51回】	卒業論文作成・研究発表の準備等									
授業計画 【第52～60回】	卒業論文発表・論文仕上げ									
授業の到達目標	栄養教育の評価に必要な統計について自己学習を継続し、知識と技術を深めること【知識・理解の育成】。 新聞・テレビ・雑誌・インターネット等に掲載される情報に関心を持ち、将来の管理栄養士として、対象者となる各ライフステージにおける人々の生活習慣や心情など栄養教育に関連する事柄に対して、自分なりの考えを持つよう意識し【態度・志向性の育成】、与えられた職務を実践する能力を身につける【汎用的技能の育成】。 将来の社会人としての礼節やコミュニケーションスキルを高める機会に積極的に参加する。									

学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	課題解決に向けた研究計画の遂行を通して、授業で学んできた栄養教育マネジメントの意義、方法についてさらに知識・技術を深める（3時間）。
授業時間外の学修 【復習】	課題解決に向けた研究計画の遂行を通して、授業で学んできた栄養教育マネジメントの意義、方法についてさらに知識・技術を深める（3時間）。
課題に対する フィードバック	研究室主催の「卒業研究発表会」を開催し、講評を行う。必要に応じて修正・加筆を指示、最終の研究成果をまとめた論文とする。
評価方法・基準	研究意欲30点
テキスト	研究テーマに応じて参考資料を用いる。
参考書	必要に応じて紹介する。
備考	管理栄養士として行政・病院・学校等で勤務した経験と、これまで他大学における卒業研究および論文の指導経験に基づき、実践的栄養教育に必要な知識と技能、卒業研究について指導を行う。

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科	
科目名称	卒業研究					授業形態		実験	
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング
担当教員名	小川 恒夫								
授業概要	卒業研究では食事内容が血糖や中性脂肪に与える影響を調べる研究を行う。 血糖値や中性脂肪値などが食事によってどの様な影響を受けるかについて調べる。自分たちで、カロリーや栄養素を調べて、それを実際に調理し、摂取した後、血糖値や中性脂肪値を測定し、食事が代謝に与える影響について研究する。 血糖値や中性脂肪値は同じ食事量を摂取していても患者によって様々に変化するのを経験する。病院での実務経験のある教員によって臨床に即した研究が行えるように指導する。								
関連する科目	本授業の履修前に受講することが望ましい科目：からだと疾病Ⅰ・Ⅱ、臨床医学Ⅰ・Ⅱ、からだと疾病実習Ⅰ・Ⅱ 本授業の履修後に受講することが望ましい科目：なし								
授業の進め方 と方法	研究テーマを与え、それに関する文献を読み、研究テーマを理解する。 研究テーマに関する実験方法を決める。 実際に実験を行い結果を出す。 結果を考察し、論文にまとめる。								
授業計画 【第1～2回】	血糖値および中性脂肪値についての論文検索								
授業計画 【第3～4回】	血糖値および中性脂肪値についての論文を読む								
授業計画 【第5～6回】	血糖値および中性脂肪値についての論文をまとめる								
授業計画 【第7～8回】	血糖値および中性脂肪値についての論文について討論する								
授業計画 【第9～10回】	採血方法、血液の扱いについて理解する								
授業計画 【第11～12回】	採血の練習をする								
授業計画 【第13～16回】	実験計画を立てる								
授業計画 【第17～20回】	予備実験を行う								
授業計画 【第21～40回】	本実験を行う								
授業計画 【第41～44回】	結果をまとめる								
授業計画 【第45～46回】	結果のグラフを作成する								
授業計画 【第47～48回】	結果について討論する								
授業計画 【第49～50回】	論文の緒言を作成する								
授業計画 【第51～52回】	論文の方法を作成する								
授業計画 【第53～54回】	論文の結果を作成する								
授業計画 【第55～58回】	論文の考察を作成する								
授業計画 【第59～60回】	論文の文献を作成する								
授業の到達目標	安全に確実に実験できるようになること。 得られたデータを正しく解析できるようになること。 解析したデータより結論を導き出せること。 得られた結論より、考察できるようになること。								
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)								

授業時間外の学修 【予習】	その日に行う事を教科書や論文で調べる。(1時間)
授業時間外の学修 【復習】	その日行った事をまとめ、理解出来ていなかった事があれば、教科書や論文を読んで、次回までに理解しておく(1時間)
課題に対する フィードバック	研究論文を返却、解説をします。
評価方法・基準	実験態度、論文内容を総合して行う。
テキスト	テキストは特にないが、実験を進めていく過程で、適宜必要な文献を提示する。
参考書	参考書は特にないが、実験を進めていく過程で、適宜必要な文献を提示する
備考	

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	管理栄養学科			
科目名称	卒業研究					授業形態		演習		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	生地 暢									
授業概要	この授業の目的は、社会に貢献できる管理栄養士を目指して、科学的視点と専門的知識及び技術を持って、良質で安全な栄養・食事管理を行える力を身につけることである。生化学および食品衛生学にもととしたテーマについて、様々なソースからの情報を整理すると共に、遺伝学的、酵素化学的ならびに分析化学的手法等を用いて実験を行い、実験結果をまとめ考察を加えて、さらなる展開を図る。最終的に実験で得られた成果をまとめて卒業論文を作成する。									
関連する科目	生化学Ⅰ・生化学Ⅱ・生化学実験・食品衛生学・食品衛生学実験を受講し、単位修得しておく。									
授業の進め方 と方法	生化学および食品衛生学分野においてテーマを決定し、そのテーマに関する実験計画を策定し、実験を行い、得られた結果をデータ解析することによって、考察を深め、最終的に論文作成を行う。									
授業計画 【第1回】	研究テーマの策定 関心がある研究テーマについて、様々な情報サイトの検索方法について学ぶ。									
授業計画 【第2回】	研究テーマの策定 関心がある研究テーマについて、様々な情報サイトの検索方法について学ぶ。									
授業計画 【第3回】	研究テーマの決定・年間計画作成 研究テーマを決定し、研究の進め方について学ぶ。									
授業計画 【第4回】	研究テーマの決定・年間計画作成 研究テーマを決定し、研究の進め方について学ぶ。									
授業計画 【第5回】	文献等の検索 研究テーマについて、さらに文献等の検索を行う。									
授業計画 【第6回】	文献等の検索 研究テーマについて、さらに文献等の検索を行う。									
授業計画 【第7回】	文献等の検索 研究テーマについて、さらに文献等の検索を行う。									
授業計画 【第8回】	文献等の検索 研究テーマについて、さらに文献等の検索を行う。									
授業計画 【第9回】	文献等の検索 研究テーマについて、さらに文献等の検索を行う。									
授業計画 【第10回】	文献等の検索 研究テーマについて、さらに文献等の検索を行う。									
授業計画 【第11回】	実験方法の策定と準備 研究テーマに関連した文献を検索し、その内容を理解し、実験方法等について学ぶ。									
授業計画 【第12回】	実験方法の策定と準備 研究テーマに関連した文献を検索し、その内容を理解し、実験方法等について学ぶ。									
授業計画 【第13回】	実験方法の策定と準備 研究テーマに関連した文献を検索し、その内容を理解し、実験方法等について学ぶ。									
授業計画 【第14回】	実験方法の策定と準備 研究テーマに関連した文献を検索し、その内容を理解し、実験方法等について学ぶ。									
授業計画 【第15回】	実験方法の策定と準備 研究テーマに関連した文献を検索し、その内容を理解し、実験方法等について学ぶ。									
授業計画 【第16回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。									
授業計画 【第17回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。									
授業計画 【第18回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。									
授業計画 【第19回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。									
授業計画 【第20回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。									
授業計画 【第21回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。									
授業計画 【第22回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。									
授業計画 【第23回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。									
授業計画 【第24回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。									
授業計画 【第25回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。									
授業計画 【第26回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。									
授業計画 【第27回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。									

授業計画 【第28回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第29回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第30回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第31回】	前半報告 研究テーマに対する実験を行い、得られた実験結果報告を行い、実験の進め方について検討する。
授業計画 【第32回】	前半報告 研究テーマに対する実験を行い、得られた実験結果報告を行い、実験の進め方について検討する。
授業計画 【第33回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第34回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第35回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第36回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第37回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第38回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第39回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第40回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第41回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第42回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第43回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第44回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第45回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第46回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第47回】	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
授業計画 【第48回】	後半報告 研究テーマに対する実験を行い、得られた実験結果報告を行い、卒業論文のまとめ方について検討する。
授業計画 【第49回】	後半報告 研究テーマに対する実験を行い、得られた実験結果報告を行い、卒業論文のまとめ方について検討する。
授業計画 【第50回】	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
授業計画 【第51回】	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
授業計画 【第52回】	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
授業計画 【第53回】	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
授業計画 【第54回】	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
授業計画 【第55回】	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
授業計画 【第56回】	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
授業計画 【第57回】	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
授業計画 【第58回】	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
授業計画 【第59回】	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
授業計画 【第60回】	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
授業の到達目標	1. 課題研究の意義に関心を持ち、知識や技能を総合的に身につける。【知識・理解の修得】 2. 生化学および食品衛生学分野で、課題を見つけ、その課題を解決する方法を探すことができる。【問題解決力の育成】 3. 課題研究を行う過程で、健康・時間管理等を行い、スムーズに進めることができる。【自己管理力の育成】

学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学修 【予習】	研究テーマについて、論文等を十分読み、さらなる知識を得て、実験手順等を十分理解し、実験に臨むこと。得られた結果を解析するにあたって、統計処理などの技術を習得しておくこと。
授業時間外の学修 【復習】	得られた結果から課題を見つけ、その課題を解決する方法等を探求すること。
課題に対する フィードバック	実験、卒業論文作成のなかで、その都度、評価・解説する。
評価方法・基準	卒業研究に取り組む態度、結果についての考察、データのまとめ方、発表態度、論文のまとめ方などで総合的に評価する。
テキスト	特にないが、実験を進めていく過程で、適宜必要な文献等を提示する。
参考書	特にないが、実験を進めていく過程で、適宜必要な文献等を提示する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	卒業研究						授業形態		実験	
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	竹之山 慎一									
授業概要	食品学分野、とくに動物性食品（肉・乳・卵）を中心に栄養・機能性成分に富んだ食品について研究する。具体的には南九州地域、とくに宮崎県で生産される各種動物性食品を中心に、それらの栄養素や機能性成分、美味しさ、軟らかさなど、みやざきブランドアップに貢献できるような研究を遂行する。また食品副産物の有効利用を目的としたバイオリサイクルによる、食品副産物を飼料として給与しそれらから生産される動物性食品の栄養・機能性の評価や、食品の付加価値向上について研究する。これらの研究データをもとに卒業論文を作成する。									
関連する科目	食品学Ⅰ・食品学Ⅱ・食品学Ⅲ・食品学実験・食品学加工学実習、その他管理栄養学科の必須科目全般を事前に履修することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	毎回前半にパワーポイントによるプレゼンテーションを用いた講義を行い、その後の実験を展開します。 授業の全般的に下記の授業計画の項目について実験し、その実験途中に質問項目を投げかけ、グループディスカッション等にて、学びを深められるようにします。 また、毎回実験の内容に応じて、レポート課題等を課します。 さらには卒業研究の最後に、テーマごとのグループディスカッションを行いパワーポイントによる発表を行います。									
授業計画 【第1回】	第 1 ～ 5 回 卒業論文の年間計画および研究テーマの確認									
授業計画 【第2回】	第 6 ～ 1 0 回 研究テーマの決定と実験方法									
授業計画 【第3回】	第 1 1 ～ 1 5 回 実験・研究準備									
授業計画 【第4回】	第 1 6 ～ 4 5 回 実験・研究実施									
授業計画 【第5回】	第 4 6 ～ 5 0 回 論文の書き方・まとめ方									
授業計画 【第6回】	第 5 1 ～ 5 5 回 論文作成									
授業計画 【第7回】	第 5 6 ～ 5 9 回 論文発表の準備									
授業計画 【第8回】	第 6 0 回 研究論文発表									
授業の到達目標	今まで履修してきた知識と管理栄養士として重要な人間に対する医療を軸とした演習を行い、知識を実践的なものとしていく。									
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)									

授業時間外の学修 【予習】	【予習】教科書・参考書等を熟読し、講義内容を把握しておくこと（1hr）。
授業時間外の学修 【復習】	【復習】講義内容や配布資料を確認・復習しておくこと（1hr）。
課題に対する フィードバック	レポートは評価後、返却及び解説を行います
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 学習意欲・質疑応答-40点 2) 卒業論文-60点
テキスト	
参考書	
備考	

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科				
科目名称	卒業研究						授業形態	実習	
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	村上 真珠美								
授業概要	教員の指導による研究計画・研究方法・研究報告等の事前学習と、学生自らがこれまでの臨床栄養学で学んだ分野を選択し、企画・運営・交渉・調査・分析等を進めて、研究論文としてまとめる。								
関連する科目	臨床栄養学 管理栄養学科すべての必修科目の単位を修得すること。								
授業の進め方 と方法	研究取材、集計、論文作成、報告会を行う。随時指導していく。								
授業計画 【第1～5回】	ゼミの年間計画および研究テーマの検索								
授業計画 【第6～10回】	研究テーマの決定と論文の書き方・まとめ方								
授業計画 【第11～15回】	研究内容の実地プラン作成								
授業計画 【第16～20回】	研究調査実施準備①								
授業計画 【第21～25回】	研究調査実施準備②								
授業計画 【第26～30回】	研究調査実施								
授業計画 【第31～40回】	研究調査のまとめ								
授業計画 【第41～54回】	論文作成								
授業計画 【第55～59回】	論文発表の準備								
授業計画 【第60回】	研究論文発表会								
授業の到達目標	これまでに培ってきた臨床栄養学の知識や実践力の集大成として、自らが取り組んだ研究テーマに沿った内容を論文としてまとめ、プレゼンテーションを通して報告することができる。								

学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	”予習：研究テーマに関連した文献を読む。食に関する最新のニュースについて説明できるように簡潔な文章にまとめる。（2時間）
授業時間外の学修 【復習】	復習：調査あるいは同室の専攻生と行ったディスカッションの内容を整理しておく。（1時間）
課題に対する フィードバック	研究室内でまとめた論文の発表会を行い評価し、研究成果をまとめた論文とする。
評価方法・基準	研究に取り組む意欲 20点、知識の習得状況30点 研究成果 30点、発表 20点
テキスト	必要に応じて紹介する。
参考書	必要に応じて参考資料を用いる。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科				
科目名称	卒業研究						授業形態	演習	
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	長友 多恵子								
授業概要	本授業の目的は、人々が生活の質の向上につながるような望ましい生活習慣に改め、それを継続するにはどうすればよいのか、また、食環境に働きかけることで生活習慣へ好影響を与える方法等について研究することである。これまで学んできたことを基礎とし、文献等調査や自己モニタリング体験をもとに研究計画を作成し、研究計画に基づき調査・実験等を行い、収集したデータを解析して卒業論文を作成する。								
関連する科目	履修前に、公衆栄養学を中心とする専門科目授業全般を受講しておくことが望ましい。								
授業の進め方 と方法	まず、研究テーマを決め、なるべく自主的に、自らの探究心を持って研究を進める。 研究室の他学生と協力しながら、発表に備えて、3年までに経験し学んだ知識や方法を駆使し、まとめていく。								
授業計画 【第1回】	年間計画についての説明								
授業計画 【第2回】	文献等の調査および自己モニタリング（１）－１								
授業計画 【第3回】	文献等の調査および自己モニタリング（１）－２								
授業計画 【第4回】	文献等の調査および自己モニタリング（１）－３								
授業計画 【第5回】	文献等の調査および自己モニタリング（１）－４								
授業計画 【第6回】	文献等の調査についての発表（１）								
授業計画 【第7回】	文献等の調査および自己モニタリング（２）－１								
授業計画 【第8回】	文献等の調査および自己モニタリング（２）－２								
授業計画 【第9回】	文献等の調査および自己モニタリング（２）－３								
授業計画 【第10回】	文献等の調査および自己モニタリング（２）－４								
授業計画 【第11回】	文献等の調査についての発表（２）								
授業計画 【第12回】	研究計画の作成 1								
授業計画 【第13回】	研究計画の作成 2								
授業計画 【第14回】	研究計画の作成 3								
授業計画 【第15回】	研究計画の作成 4								
授業計画 【第16回】	研究計画についての発表								
授業計画 【第17回】	第 1 次調査等 1								
授業計画 【第18回】	第 1 次調査等 2								
授業計画 【第19回】	第 1 次調査等 3								
授業計画 【第20回】	第 1 次調査等 4								
授業計画 【第21回】	第 1 次調査についての発表								
授業計画 【第22回】	第2次調査等 1								
授業計画 【第23回】	第2次調査等 2								
授業計画 【第24回】	第2次調査等 3								
授業計画 【第25回】	第2次調査等 4								
授業計画 【第26回】	調査結果の集計 1								
授業計画 【第27回】	調査結果の集計 2								
授業計画 【第28回】	調査結果の集計 3								
授業計画 【第29回】	調査結果の集計 4								
授業計画 【第30回】	調査結果の集計 5								
授業計画 【第31回】	調査結果の統計解析 1								
授業計画 【第32回】	調査結果の統計解析 2								
授業計画 【第33回】	調査結果の統計解析 3								

授業計画 【第34回】	調査結果の統計解析 4
授業計画 【第35回】	調査結果の統計解析 5
授業計画 【第36回】	調査結果の統計解析 6
授業計画 【第37回】	統計解析についての発表
授業計画 【第38回】	論文の書き方についての説明
授業計画 【第39回】	論文作成 1
授業計画 【第40回】	論文作成 2
授業計画 【第41回】	論文作成 3
授業計画 【第42回】	論文作成 4
授業計画 【第43回】	論文作成 5
授業計画 【第44回】	論文作成 6
授業計画 【第45回】	論文作成 7
授業計画 【第46回】	論文作成 8
授業計画 【第47回】	論文作成 9
授業計画 【第48回】	論文作成 10
授業計画 【第49回】	論文作成 11
授業計画 【第50回】	論文作成 12
授業計画 【第51回】	発表準備 1
授業計画 【第52回】	発表準備 2
授業計画 【第53回】	発表準備 3
授業計画 【第54回】	発表準備 4
授業計画 【第55回】	発表準備 5
授業計画 【第56回】	発表準備 6
授業計画 【第57回】	発表準備 7
授業計画 【第58回】	発表準備 8
授業計画 【第59回】	発表準備 9
授業計画 【第60回】	卒論発表
授業の到達目標	卒業論文作成までの一連の流れの中で、研究の意義や解析の知識とスキルを身につける。【知識・理解を応用し活用する能力の獲得】【問題解決力・問題発見力の獲得】【情報リテラシー（情報利活用力）・数量スキル・論理的思考の獲得】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外の学修 【予習】	自己モニタリングの集計、調査結果の集計、発表等の準備を行う（各 1 時間）
授業時間外の学修 【復習】	他者の発表を見て評価したり、自分の発表にフィードバックすることで改善点をまとめておく（1時間）
課題に対する フィードバック	学生が作成した案や途中発表についてアドバイスをを行う。
評価方法・基準	取組状況 20点 卒業論文 50点 卒論発表 30点
テキスト	必要に応じて適宜指定する。
参考書	・初めての栄養学研究論文（第一出版） ・必要に応じて適宜紹介する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	卒業研究					授業形態		演習		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	川北 久美子									
授業概要	食べる順番が血糖値に及ぼす影響や身体活動量、食事、食習慣が体組成に及ぼす影響、生活習慣との関係などの他、学生が興味のあるテーマについて、実験、演習を通して学ぶ。【汎用的技能の育成】									
関連する科目	事前からだと栄養、基礎栄養学を履修し、知識を確認しておくことが望ましい。									
授業の進め方 と方法	卒論テーマとなる研究を実施して、得られた結果をグラフで示す方法や、解析結果の活用法について、グループワークや個人指導を通して卒論を完成させる。パワーポイント資料を作成し、プレゼンテーションにて報告しながら、その都度添削をして完成させる。そのなかで、結果から考察を導くために、調べる内容についてヒントを与え、それに従って学生自らが調べ、調べた内容について情報共有、ディスカッションを行う。【汎用的技能の育成】 卒業研究はグループで協力して進める。【コミュニケーションスキルやチームワークの育成】									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 卒業研究の進め方や心得などについて学ぶ。									
授業計画 【第2回】	研究室の研究テーマの説明 取り組む研究内容について概要を説明する。									
授業計画 【第3回】	研究テーマ決定① グループで取り組むテーマを決定する。									
授業計画 【第4回】	研究テーマ決定② 今後のスケジュールを話し合う。									
授業計画 【第5回】	研究テーマに関する検討① 研究テーマに沿った研究方法の検討を行う。									
授業計画 【第6回】	研究テーマに関する検討② 研究テーマに関する論文検索の方法を学ぶ。									
授業計画 【第7回】	プレゼンテーション① 研究目的のプレゼンテーションを作成する。									
授業計画 【第8回】	プレゼンテーション② 研究方法のプレゼンテーションを作成する。									
授業計画 【第9回】	研究計画① 研究計画の作成を行う。									
授業計画 【第10回】	研究計画② 作成した研究計画の検討を行う。									
授業計画 【第11回】	研究準備① 研究に必要なリストを作成する。									
授業計画 【第12回】	研究準備② リストに沿って研究が始められるよう準備する。									
授業計画 【第13回】	研究1の予備試験① 予備試験を行う。									
授業計画 【第14回】	研究1の予備試験② 結果の検討、本試験の準備を行う。									
授業計画 【第15回】	研究1の本試験① 本試験を行う。									
授業計画 【第16回】	研究1の本試験② 結果の検討、追加試験の準備を行う。									
授業計画 【第17回】	研究1の追加試験① 追加試験を行う。									
授業計画 【第18回】	研究1の追加試験② 結果の検討、まとめの準備を行う。									
授業計画 【第19回】	研究1の試験結果まとめ① データの整理、グラフの作成などを行う。									
授業計画 【第20回】	研究1の試験結果まとめ② まとめを行う。									
授業計画 【第21回】	研究1の考察① 得られた結果から目的に沿った考察を考える。									
授業計画 【第22回】	研究1の考察② 考察のまとめ、今後の展望をまとめる。									
授業計画 【第23回】	研究2の予備試験① 予備試験を行う。									
授業計画 【第24回】	研究2の予備試験② 結果の検討、本試験の準備を行う。									
授業計画 【第25回】	研究2の本試験① 本試験を行う。									
授業計画 【第26回】	研究2の本試験② 結果の検討、追加試験の準備を行う。									
授業計画 【第27回】	研究2の追加試験① 追加試験を行う。									
授業計画 【第28回】	研究2の追加試験② 結果の検討、まとめの準備を行う。									
授業計画 【第29回】	研究2の試験結果まとめ① データの整理、グラフの作成などを行う。									
授業計画 【第30回】	研究2の試験結果まとめ② まとめを行う。									

授業計画 【第31回】	研究2の考察① 得られた結果から目的に沿った考察を考える。
授業計画 【第32回】	研究2の考察② 考察のまとめ、今後の展望をまとめる。
授業計画 【第33回】	研究1の総括 研究1の中間報告の準備を行う。
授業計画 【第34回】	研究2の総括 研究2の中間報告の準備を行う。
授業計画 【第35回】	中間報告① 研究1の中間報告を行う。
授業計画 【第36回】	中間報告② 研究2の中間報告を行う。
授業計画 【第37回】	試験結果の統計解析① 研究1のデータ解析を学ぶ。
授業計画 【第38回】	試験結果の統計解析② 研究2のデータ解析を学ぶ。
授業計画 【第39回】	論文の書き方・まとめ方の指導① 一般的な論文の書き方・まとめ方を資料を参考に学ぶ。
授業計画 【第40回】	論文の書き方・まとめ方の指導② 研究1、2の論文についてまとめ方を学ぶ。
授業計画 【第41回】	論文作成① 諸言を完成させる。
授業計画 【第42回】	論文作成② 目的を完成させる。
授業計画 【第43回】	論文作成③ 試験方法を完成させる。
授業計画 【第44回】	論文作成④ 結果を完成させる。
授業計画 【第45回】	論文作成⑤ 論文考察作成を念頭に入れた関係論文を検索する。
授業計画 【第46回】	論文作成⑥ 論文考察作成を念頭に入れた参考図書を検索する。
授業計画 【第47回】	論文作成⑦ 考察を完成させる。
授業計画 【第48回】	論文作成⑧ 論文と参考文献の最終チェックを行う。
授業計画 【第49回】	論文作成⑨ 試験の検査項目などに関連するテーマについて各自調べ学習をする。
授業計画 【第50回】	論文作成⑩ 調べ学習のまとめを行う。
授業計画 【第51回】	論文作成⑪ 各自で調べた内容を発表する。
授業計画 【第52回】	論文作成⑫ 発表した内容を論文に追加する。
授業計画 【第53回】	論文提出① 論文の提出を行う。
授業計画 【第54回】	論文提出② チェック後の論文訂正を行う。
授業計画 【第55回】	論文提出③ 論文訂正後の検討を行う。
授業計画 【第56回】	論文提出④ 論文提出の最終準備を行う。
授業計画 【第57回】	論文提出⑤ 論文提出の最終チェックを行う。
授業計画 【第58回】	論文プレゼンテーション① 論文プレゼンテーションの指導、準備を行う。
授業計画 【第59回】	論文プレゼンテーション② 論文プレゼンテーション、製本をする。
授業計画 【第60回】	まとめ 取り組んだ卒論テーマを今後どのような場面で生かしていけばよいかなど意見交換を行う。
授業の到達目標	研究室みんなで協力して研究を行い、卒業論文をまとめること。【汎用性技能の育成】【コミュニケーションスキルやチームワークの育成】 研究テーマを通して学んだことを卒業後の管理栄養士業務に生かす。【態度、志向性の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)/2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)/3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学修 【予習】	【予習】なぜこの研究を行っていくかを考えた時、必然的に自身がどのようなことを知っておく必要があるのかということが見えてくる。それをもとに必要な情報を文献や図書などから収集しておくこと。試験を行う場合は事前に準備や流れを理解しておくこと。(1時間程度)
授業時間外の学修 【復習】	【復習】試験後は、データのまとめを行うこと。またデータから何が言えるのかを考え、それを裏付ける根拠についての情報収集を行うこと。(1時間程度)
課題に対する フィードバック	作成されたものはその都度添削する。完成するまでこの作業を繰り返す。
評価方法・基準	コミュニケーション力、協調性、探求力(30点) 卒業論文の内容(70点)
テキスト	からだ栄養Ⅰ、基礎栄養学などで使用した教科書。
参考書	必要に応じて、プリントの配布や文献を提示する。

備考	
----	--

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	卒業研究					授業形態		演習		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	木村 志緒									
授業概要	人々が生活の質の向上につながるような望ましい生活習慣に改め、それを継続するにはどうすればよいのかについて研究する。これまで学んできたことを基礎とし、文献等調査や自己モニタリング体験をもとに研究計画を作成し、研究計画に基づき調査・実験等を行い、収集したデータを解析して卒業論文を作成する。									
関連する科目	公衆衛生学、健康管理概論、食事計画論実習Ⅰ									
授業の進め方 と方法	グループあるいは個人でテーマを定めて取り組む									
授業計画 【第1回】	年間計画についての説明									
授業計画 【第2回】	テーマに関する文献の収集と閲覧(1)									
授業計画 【第3回】	テーマに関する文献の収集と閲覧(2)									
授業計画 【第4回】	テーマに関する文献の収集と閲覧(3)									
授業計画 【第5回】	テーマに関する文献の収集と閲覧(4)									
授業計画 【第6回】	テーマに関する文献の収集と閲覧(5)									
授業計画 【第7回】	データ収集および整理(1)									
授業計画 【第8回】	データ収集および整理(2)									
授業計画 【第9回】	データ収集および整理(3)									
授業計画 【第10回】	データ収集および整理(4)									
授業計画 【第11回】	データ収集および整理(5)									
授業計画 【第12回】	論文作成(1)									
授業計画 【第13回】	論文作成(2)									
授業計画 【第14回】	論文作成(3)									
授業計画 【第15回】	論文作成(4)									
授業計画 【第16回】	論文作成(5)									
授業計画 【第17回】	研究室内で発表(1)									
授業計画 【第18回】	研究室内で発表(2)									
授業計画 【第19回】	研究室内で発表(3)									
授業計画 【第20回】	研究室内で発表(4)									
授業計画 【第21回】	研究室内で発表(5)									
授業計画 【第22回】	追加文献の収集および閲覧(1)									
授業計画 【第23回】	追加文献の収集および閲覧(2)									
授業計画 【第24回】	追加文献の収集および閲覧(3)									
授業計画 【第25回】	追加文献の収集および閲覧(4)									
授業計画 【第26回】	追加文献の収集および閲覧(5)									
授業計画 【第27回】	追加データ収集および整理(1)									
授業計画 【第28回】	追加データ収集および整理(2)									
授業計画 【第29回】	追加データ収集および整理(3)									
授業計画 【第30回】	追加データ収集および整理(4)									
授業計画 【第1回】	年間計画についての説明									
授業計画 【第2回】	テーマに関する文献の収集と閲覧(1)									
授業計画 【第3回】	テーマに関する文献の収集と閲覧(2)									
授業計画 【第4回】	テーマに関する文献の収集と閲覧(3)									

授業計画【第5回】	テーマに関する文献の収集と閲覧(4)
授業計画【第6回】	テーマに関する文献の収集と閲覧(5)
授業計画【第7回】	データ収集および整理(1)
授業計画【第8回】	データ収集および整理(2)
授業計画【第9回】	データ収集および整理(3)
授業計画【第10回】	データ収集および整理(4)
授業計画【第11回】	データ収集および整理(5)
授業計画【第12回】	論文作成(1)
授業計画【第13回】	論文作成(2)
授業計画【第14回】	論文作成(3)
授業計画【第15回】	論文作成(4)
授業計画【第16回】	論文作成(5)
授業計画【第17回】	研究室内で発表(1)
授業計画【第18回】	研究室内で発表(2)
授業計画【第19回】	研究室内で発表(3)
授業計画【第20回】	研究室内で発表(4)
授業計画【第21回】	研究室内で発表(5)
授業計画【第22回】	追加文献の収集および閲覧(1)
授業計画【第23回】	追加文献の収集および閲覧(2)
授業計画【第24回】	追加文献の収集および閲覧(3)
授業計画【第25回】	追加文献の収集および閲覧(4)
授業計画【第26回】	追加文献の収集および閲覧(5)
授業計画【第27回】	追加データ収集および整理(1)
授業計画【第28回】	追加データ収集および整理(2)
授業計画【第29回】	追加データ収集および整理(3)
授業計画【第30回】	追加データ収集および整理(4)
授業の到達目標	テーマ選択から卒業論文作成までの一連の流れの中で、研究の意義や解析の知識とスキルを身につける。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修【予習】	テーマと関連する論文の検索と閲覧(1時間程度)
授業時間外の学修【復習】	調査結果の集計等を行う(1時間程度) 論文執筆⇒添削を受けるを繰り返す(1時間程度)
課題に対するフィードバック	PDCAサイクルの中で、必要に応じて適宜対応する。
評価方法・基準	取組状況および卒業論文を総合して評価する。
テキスト	必要に応じて適宜指定する。
参考書	・論文の書き方・まとめ方(第一出版) ・必要に応じて適宜紹介する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	卒業研究					授業形態		演習		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	出口 佳奈絵									
授業概要	本科目では「時間栄養学の健康科学への応用」をテーマに活動する。いつ、何を、どのように食べるかの時間栄養学を基盤とし、食生活の重要性を明らかにすることを目的とする。これまでの基礎研究と科学実験に基づく結果を栄養と健康の科学的視点から考察し、論文作成と成果発表にいたるまでのプロセスが専門職としての総合力を養うことを目指す。									
関連する科目	(履修前) 基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学、公衆栄養学 分野									
授業の進め方 と方法	チームで活動する。 進捗状況に応じて研究計画の確認と見直しを行う。 定期的なデータ会で意見交換を行い、論文作成に役立てる。 研究成果をまとめてプレゼンテーションを行う。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション① 研究計画と研究目的について学ぶ。									
授業計画 【第2回】	オリエンテーション② 研究テーマに関する論文(1)について学ぶ。									
授業計画 【第3回】	オリエンテーション③ 研究テーマに関する論文(2)について学ぶ。									
授業計画 【第4回】	オリエンテーション④ 研究テーマに関する論文(1)についてプレゼンを行う。									
授業計画 【第5回】	オリエンテーション⑤ 研究テーマに関する論文(2)についてプレゼンを行う。									
授業計画 【第6回】	研究方法の検討① 実験方法の手順(1)について学ぶ。									
授業計画 【第7回】	研究方法の検討② 実験方法の手順(2)について学ぶ。									
授業計画 【第8回】	研究方法の検討③ 方法の手順について予備実験(1)を行う。									
授業計画 【第9回】	研究方法の検討④ 方法の手順について予備実験(2)を行う。									
授業計画 【第10回】	研究方法の検討⑤ 方法の手順について予備実験(3)を行う。									
授業計画 【第11回】	本実験の計画・方法① 本実験の計画と方法(1)について検討する。									
授業計画 【第12回】	本実験の計画・方法② 本実験の計画と方法(2)について検討する。									
授業計画 【第13回】	本実験の計画・方法③ 本実験の計画と方法についてプレゼン(1)を行う。									
授業計画 【第14回】	本実験の計画・方法④ 本実験の計画と方法についてプレゼン(2)を行う。									
授業計画 【第15回】	本実験の計画・方法⑤ 本実験の計画と方法についてプレゼン(3)を行う。									
授業計画 【第16回】	本実験の実施① 計画と方法に基づき本実験(1)を行う。									
授業計画 【第17回】	本実験の実施② 計画と方法に基づき本実験(2)を行う。									
授業計画 【第18回】	本実験の実施③ 計画と方法に基づき本実験(3)を行う。									
授業計画 【第19回】	本実験の実施④ 計画と方法に基づき本実験(4)を行う。									
授業計画 【第20回】	本実験の実施⑤ 計画と方法に基づき本実験(5)を行う。									
授業計画 【第21回】	結果集約とデータ解析① 結果のまとめ方(1)について学ぶ。									
授業計画 【第22回】	結果集約とデータ解析② 結果のまとめ方(2)について学ぶ。									
授業計画 【第23回】	結果集約とデータ解析③ データ解析の方法(1)について学ぶ。									
授業計画 【第24回】	結果集約とデータ解析④ データ解析の方法(2)について学ぶ。									
授業計画 【第25回】	結果集約とデータ解析⑤ 結果集約とデータ解析を行う。									
授業計画 【第26回】	データ会① 実験結果(1)について意見交換を行う。									
授業計画 【第27回】	データ会② 実験結果(2)について意見交換を行う。									
授業計画 【第28回】	データ会③ 実験結果(3)について意見交換を行う。									
授業計画 【第29回】	論文の作成① 論文の構成(1)について学ぶ。									
授業計画 【第30回】	論文の作成② 論文の構成(2)について学ぶ。									

授業計画 【第31回】	論文の作成③ 論文：緒言(1)の作成を行う。
授業計画 【第32回】	論文の作成④ 論文：緒言(2)の作成を行う。
授業計画 【第33回】	論文の作成⑤ 論文：実験方法(1)の作成を行う。
授業計画 【第34回】	論文の作成⑥ 論文：実験方法(2)の作成を行う。
授業計画 【第35回】	論文の作成⑦ 論文：実験結果(1)の作成を行う。
授業計画 【第36回】	論文の作成⑧ 論文：実験結果(2)の作成を行う。
授業計画 【第37回】	論文の作成⑨ 論文：実験結果(3)の作成を行う。
授業計画 【第38回】	論文の作成⑩ 論文：考察(1)の作成を行う。
授業計画 【第39回】	論文の作成⑪ 論文：考察(2)の作成を行う。
授業計画 【第40回】	論文の作成⑫ 論文：考察(3)の作成を行う。
授業計画 【第41回】	論文の訂正① 論文：緒言(1)の改善に取り組む。
授業計画 【第42回】	論文の訂正② 論文：緒言(2)の改善に取り組む。
授業計画 【第43回】	論文の訂正③ 論文：実験方法(1)の改善に取り組む。
授業計画 【第44回】	論文の訂正④ 論文：実験方法(2)の改善に取り組む。
授業計画 【第45回】	論文の訂正⑤ 論文：実験結果(1)の改善に取り組む。
授業計画 【第46回】	論文の訂正⑥ 論文：実験結果(2)の改善に取り組む。
授業計画 【第47回】	論文の訂正⑦ 論文：実験結果(3)の改善に取り組む。
授業計画 【第48回】	論文の訂正⑧ 論文：考察(1)の改善に取り組む。
授業計画 【第49回】	論文の訂正⑨ 論文：考察(2)の改善に取り組む。
授業計画 【第50回】	論文の訂正⑩ 論文：考察(3)の改善に取り組む。
授業計画 【第51回】	研究報告① 成果発表の準備(1)を行う。
授業計画 【第52回】	研究報告② 成果発表の準備(2)を行う。
授業計画 【第53回】	研究報告③ 成果発表の準備(3)を行う。
授業計画 【第54回】	研究報告④ 成果発表の準備(4)を行う。
授業計画 【第55回】	研究報告⑤ 成果発表の準備(5)を行う。
授業計画 【第56回】	研究報告⑥ 研究成果についてプレゼン(1)を行う。
授業計画 【第57回】	研究報告⑦ 研究成果についてプレゼン(2)を行う。
授業計画 【第58回】	研究報告⑧ 研究成果についてプレゼン(3)を行う。
授業計画 【第59回】	研究報告⑨ 研究成果についてプレゼン(4)を行う。
授業計画 【第60回】	研究報告⑩ 研究成果について総合的に解説する。
授業の到達目標	①栄養と生体内代謝の関連について理解を深める。【知識・理解の獲得】 ②時間栄養学から健康を考える。【多様性理解の育成】 ③地域に根差した理解しやすいプレゼン力の向上に努める。【問題解決力・論理的思考力の育成】 ④共同作業の重要性を自覚し、時間厳守とモチベーション向上に努める。【コミュニケーション力の向上・チームワークの育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	健康の成り立ちと食事の栄養学的意義を理解しておくこと。(60分)
授業時間外の学修 【復習】	修得したスキルを記録し、実験ノートにまとめること。(60分)
課題に対する フィードバック	・卒業論文は添削して返却する。 ・研究報告に対してコメントを行う。 ・研究の成果は総合的に解説する。
評価方法・基準	①卒業論文(80%) ②研究報告(20%) * 科学的な判断力を総合評価する。
テキスト	プリント配布

参考書	参考文献は適宜紹介する。
備考	配布資料の整理を行い、研究内容を記録すること。